

製品名: KLF10 (16L10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13052**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	53kDa

抗原情報

遺伝子名	KLF10
別名	EGR alpha; EGRA; Egral; EGRalpha; Gdnfif; KLF10; mGIF; TIEG; TIEG1;
遺伝子 ID	7071.0
SwissProt ID	Q13118
免疫原	ヒト KLF10 の合成ペプチド

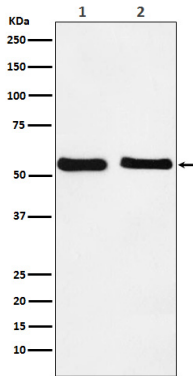
背景

コンセンサス配列 5'-GGTGTG-3'に結合する転写抑制因子。概日時計の調節に役割を果たし、コア時計構成要素 ARTNL/BMAL1 のプロモーター内の GC ボックス配列に結合し、その転写活性を抑制します。コンセンサス配列 5'-GGTGTG-3'に結合する転写抑制因子。概日時計の調節に役割を果たし、コア時計構成要素 ARTNL/BMAL1 のプロモーター内の GC ボックス配列に結合し、その転写活性を抑制します。肝臓における脂肪生成、糖新生、解糖に關与する遺伝子の概日リズム発現を制御します。糖新生の律速段階酵素である PCK2 の発現を抑制します（類似性による）。細胞周期制御に役割を果たしている可能性があります。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) HepG2 細胞溶解物、(2) NIH/3T3 細胞溶解物における KLF10 発現のウエスタンブロット解析。